

会 告

2023 年度春季大会（第 59 回通常総会・第 58 回講演会）開催について

1. 会場

文部科学省研究交流センター（茨城県つくば市竹園 2-20-5）

つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園 2-20-3）

2. 期日 2023（令和 5）年 3 月 19 日（日）～21 日（火）

- ・理事会 3 月 19 日（日）12 時～：開催場所調整中
- ・評議員会 3 月 19 日（日）15 時～：開催場所調整中
- ・講演会 3 月 20 日（月）9 時～：研究交流センター
3 月 21 日（火）9 時～：つくば国際会議場およびオンライン
- ・ポスターセッション（優秀学生賞選考）3 月 20 日（月）11 時～：研究交流センター
- ・総会・学会賞表彰式・受賞講演 3 月 20 日（月）13 時～：研究交流センター
- ・テーマセッション 3 月 20 日（月）15 時～：研究交流センター
- ・研究交流会 実施しません。

3. 後援 未定

4. 大会運営委員

- ・委員長：長崎裕司（農林水産省）
- ・委員：荒木琢也，深山大介，竹内正彦，関 正裕，建石邦夫（農研機構）
加藤盛夫，林 久喜（筑波大学）
- ・事務局：農研機構中日本農業研究センター 関 正裕
〒305-8666 茨城県つくば市観音台 2-1-18
TEL：029-838-8828 E-mail：meeting@jsfwr.org

5. 講演申込み・講演要旨原稿および講演要旨概要原稿送付要領

- (1) 学会ホームページ（<https://jsfwr.org/>）から、講演申込フォームに必要事項を記入するとともに、原稿作成要領によって、①講演要旨原稿（農作業研究第 58 巻別号掲載用）、②講演要旨概要原稿（農作業研究第 58 巻第 2 号掲載用）を作成し、送信して下さい。締切は 2023 年 ~~1 月 31 日（火）~~ 必着です。
- (2) 講演要旨の筆頭者および講演会での発表者は本学会会員であることが必要です。会員でない場合は講演申込みまでに入会手続きをして下さい。入会手続きについては学会ホームページをご覧ください。
- (3) 優秀学生賞はポスター発表を行った学生会員から、選考委員の審査により選出します。応募する場合は後述の「優秀学生賞の募集について」をご覧ください。

6. 講演について

- (1) 講演は 1 課題 15 分（発表 12 分，質疑応答 3 分）です。
- (2) 講演には PC（各自持込）のみ使用可能です。プロジェクターのケーブル（D-Sub15 と HDMI）は事務局で準備しますが、セッション時の接続も含め各自で対応願います。
- (3) 大会参加申込み時に会場参加／オンライン参加を選択して下さい。

7. 大会参加費

- ・参加費：4,000 円（講演要旨集 1 部を含みます。講演要旨集の追加購入は 1 部 1,500 円です。）
- ・終身会員および名誉会員の参加費は無料です。
- ・参加費等の代金は当日、受付でお支払い下さい。
- ・領収書の指定等がある場合は事前にメールで事務局に連絡して下さい。

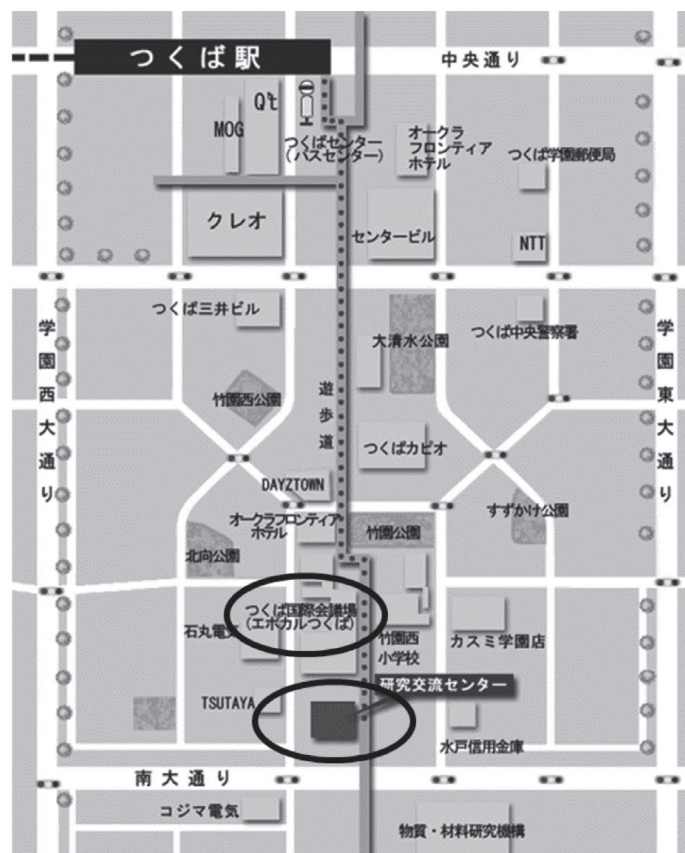
2月7日(火)

8. 参加申し込み要領

- ・大会参加申込および講演要旨集購入は、学会ホームページから2023年2月28日（火）までに申込願います。

9. 大会会場のご案内

- ・理事会（3月19日（日））：つくば市内で開催場所調整中
- ・評議員会（3月19日（日））：つくば市内で開催場所調整中
- ・3月20日（月）：文部科学省研究交流センター
- ・3月21日（火）：つくば国際会議場
- ・両会場とも、つくばエクスプレスつくば駅から徒歩10分程度
- ・つくば国際会議場の会場室内は飲食可
- ・施設内ではマスクをつけて下さい。



10. 宿泊案内

- ・宿泊については各自でご予約下さい。

講演および参加申し込みは学会ホームページからお願いします。

講演申込締切	1月31日（火） 2月7日（火）
講演要旨原稿、講演要旨概要原稿提出締切	1月31日（火） 2月7日（火）
大会参加申込締切	2月28日（火）

11. その他

- ・対面開催を中心にオンラインを加えたハイブリッド開催で準備を進めます。新型コロナウイルス感染症の拡大状況によってはオンライン中心に移行する場合があります。予定の変更等については、学会ホームページをご確認下さい。

学生会員および指導教員の方へ ー優秀学生賞の募集についてー

表彰委員会

日本農作業学会 2023 年度春季大会（つくば）において、優秀なポスター発表を行った学生会員に優秀学生賞が授与されます。本賞は、講演要旨とポスター発表で評価・審査されます。本賞に応募される学生会員は、学会ホームページ（<https://jsfwr.org/>）から、講演申込フォームに必要事項を記入し、優秀学生賞応募欄に○印を記載して下さい。講演要旨は、原稿作成要領にしたがって作成し、講演要旨原稿（農作業研究第 58 巻別号掲載用）と、講演要旨概要原稿（農作業研究第 58 巻 2 号掲載用）を、2023 年 ~~1月31日~~ **2月7日(火)**（火）までに学会ホームページから送付して下さい。

学生会員の皆様におかれては、奮ってご応募いただきますよう、ご案内いたします。

また、ポスターは以下のとおりご準備願いますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン実施に切り替える際には、口頭発表と同様にスライド形式での資料を準備いただくことになります。その旨あらかじめご承知おき下さい。

1. ポスターの作成と掲示

ポスターの大きさは、A0 縦サイズです。ポスターは会場のパネルに貼れるように作成し、応募者が 3 月 20 日（月）に会場へ持参して掲示してもらう予定です。掲示に必要な資材は会場に準備いたします。

2. コアタイムでのポスター発表

優秀学生賞に応募された学生会員には、大会期間中のコアタイムにおいて、ポスター発表をしていただきます。コアタイム等の詳細は、プログラム公表に合わせて学会ホームページに掲載されます。

3. 受賞者の選考

受賞者の選考は、講演要旨およびポスター発表に基づき、研究の独創性、正確性、応用への発展性等を総合的に勘案して行います。受賞者には、日本農作業学会長から表彰状が授与されます。

4. その他

ポスターでの発表は、優秀学生賞応募者のみ可能です。応募しない学生会員および一般会員は、口頭発表にお申し込み下さい。

オンライン切替の場合は、2 月 28 日（火）までに連絡いたします。その際に改めて発表資料の準備要領についてお知らせします。

2023 年度春季大会におけるテーマセッションのご案内

企画委員会

テーマ： 農業生産環境の変化に対応した鳥獣害対策

概要：

今日の国内問題となっている野生鳥獣による農作物被害は 1990 年代後半から顕在化したものである。当初は大きな被害をもたらすイノシシやシカなどの対策を先行実施し、防護柵を使った対策が功を奏している。早い段階で対策した地域では、設置後 20 年以上が経過し資材の更新時期を迎えている。しかし、劣化した防護資材の単なる置き換えは、高齢化や人口減少が進行し農業を取り巻く状況が変化する中で不適當であり、将来予測の下、よりシビアな条件下での新たな方策が必要となる。また、実証が進むスマート農業の推進により農業生産の形態は新しくなっていくが、これに適合した鳥獣害対策の改良がなされないと新たな被害を誘発するおそれがある。こうした課題に対し、農業生産環境や農業機械の技術開発を担う研究者と鳥獣害対策の研究者が課題を共有し、現在そして近い将来に現場が必要とする技術を多角的に検討するため、このテーマセッションを企画する。

本セッションでは、農林水産省委託プロジェクト研究（現場ニーズ対応型）「省力的かつ経済的効果の高い野生鳥獣侵入防止技術の開発」（R2～6）で実施中の研究課題から成果を紹介する。

話題提供：

1. 被害対策の更新に関わる課題と対策の実証研究

兵庫県立大学 教授 山端直人

2. 防護柵の補修、補強と設置管理の軽労化技術の開発、実証

調整中（和歌山県果樹試験場、林業試験場）

3. ロボット草刈り機と電気柵による獣害対策の課題

農研機構 畜産研究部門 主任研究員 藤本竜輔

4. 果樹のジョイント栽培における機械作業に必要な獣害対策資材の設置方法

農研機構 畜産研究部門 主任研究員 中村大輔

5. 総合討論

日時・会場：

3月20日（月）15時～17時

文部科学省研究交流センター（茨城県つくば市竹園 2-20-5）